

元気な

事業所ファイル

立尾電設 株式会社

所在地 初野 75-1
 設立 昭和49年4月
 従業員数 40人
 事業内容
 電気工事業、管工事業、消防施設工
 事業、消防設備保守管理、消防用品
 販売
 ホームページ <http://tateo.co.jp/>



代表取締役
永田 士郎 さん

当社は、防災工事業の立尾商會として発足し、昭和49年に有限会社立尾防災へと法人化。平成5年に現在の立尾電設(株)となりました。鹿児島県出水市、薩摩川内市にも支店があり、熊本県、鹿児島県を中心に電気工事業、管工事業、消防施設工事業、消防設備保守管理などを請け負っています。社員は、各業務に必要な国家資格を幅広く取得しており、技術者の知識や経験による施工品質のばらつきを防ぐために品質管理を徹底しています。

消防施設工事業や消防設備保守管理は、創業当初からの技術の蓄積があり、保守管理の顧客は約800社にものぼります。施工品質は、県内外の顧客から高い信頼を得ています。

当社は、もっと女性が活躍できる建設業を目指し、女性の雇用と育成に力を入れていきます。複数の女性技術者を育成しており、全員、消防設備士と電気工事士の国家資格を取得資格取得は、ベテラン社員が全面バックアップしています。また、コミュニケーションが二方向通行にならないよう定期的に社員全員と話す会議を設けており、今後のビジョンなどを共有しています。

現在、建設業のIoT(モノのインターネット)は、遅れているのが現状です。当社ではIoT対策として、今年から「現場間の見える化」を進めています。具体的には、現場と映像でやり取りをし、業務を遂行することで仕事の効率化、生産性向上を図ります。積極的に働き方改革に取り組んでいきます。

これからは、社員が楽しく働くことができる環境を作り、社員の幸福度を高められる企業を目指しています。そのためには企業に合う人材を探すのではなく、社員のニーズに合わせていけるような取り組みを進めています。特定の分野にこだわらず、新規事業にもどんどん挑戦していきたいですね。



2025年3月完成 JR 初島駅
(和歌山県有田市)

創業55年、私たちは今も「挑戦」を続けています。電気・水道・消防設備など、人々の暮らしを支える仕事に加え、世界初の大型3Dプリンターによる駅舎づくりにも成功しました。確かな技術と新しい発想を武器に、次の時代のインフラを創り出す。そんなワクワクする仕事があります。

